

自動ドア機構 ①駆動装置

1. 評価対象

「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（以下「標仕」という。）令和4年版16章9節に規定する自動ドア開閉装置のうち
の駆動装置とする。

2. 品質・性能等

- (1) 品質・性能について、「評価内容（別紙）」の項目を確認している。
- (2) 主要な資材について、材質および資材メーカーから申請者の製造所への納入ルートを確認している。
- (3) 性能について、実施要領に規定する試験機関による試験結果等で確認している。

3. 評価名簿詳細事項

材料の種類、性能値区分の詳細は、「評価名簿詳細事項」として掲載している。

項目		品質・性能		備考	
質量区分	開閉方式と適用戸標準質量	開閉方式	適用戸標準質量 (kg)		
		片引き	120 程度 (120±30)		
			70 程度 (90 未満)		
		引分け	120 程度 (120±30) /枚		
70 程度 (90 未満) /枚					
性能・機構	安全性全般		JIS A 4722 の「5 要求事項」による。		
	耐電圧		JIS A 4722 の「5.2.1 一般」による。ただし、JIS C 9335-1 については、(2014 または 2023) とする。		
	温度上昇		JIS A 4722 の「5.2.1 一般」による。		
	耐久性 (サイクル)		50 万以上		
	防錆 [付帯性能]		異常がないこと。		
	電源		AC100V±10% 50/60Hz		
	過負荷保護		電動機には、過負荷保護を行うこと。		
	防水性 [付帯性能]		開閉装置を屋外に設置するか、または、床に埋設する場合は、防水性のある構造とする。		
	凍結防止措置 [付帯性能]		[凍結防止措置の有無を社内規定等で確認する。]		
施工・調整後の性能	開閉力のうちの閉じ力 (N)	開閉方式	適用戸標準質量 (kg)	開閉力のうちの閉じ力 (N)	
		片引き	120 程度 (120±30)		
			70 程度 (90 未満)		
		引分け	120 程度 (120±30) /枚		
	70 程度 (90 未満) /枚				
	開閉速度	開速度 (mm/s)	500 以下		
		閉速度 (mm/s)	350 以下 センサー起動の検出範囲が確保出来ない場合は 250 以下		
手動操作力 (N)		100 以下			
反転停止距離 (mm)		250 以下			
絶縁抵抗 (MΩ)		AC100V 回路は、10 以上			

項目	品質・性能	備考
試験方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 耐電圧は、JIS A 4722 の 5.2.1 による。 2. 温度上昇は、JIS A 4722 の 5.2.1 による。 3. 耐久性（サイクル）試験は、JIS A 1551（2021）「自動ドア開閉装置の試験方法」の「7.13 開閉繰返し試験」による。 4. 防錆試験は、JIS C 60068-2-52 の「9 試験」によることとし、試験方法は「9.4.3 試験方法2」による。 5. 電源試験は、周波数 50 および 60Hz において、定格電圧（100V）の 90%および 110%の電圧を加えたときの動作確認を行う。 6. 開閉力のうちの閉じ力試験は、JIS A 1551 の「7.2.1 引き戸の開閉力試験」による。 7. 開閉速度試験は、JIS A 1551 の「7.3.1 引き戸の開閉速度試験」による。 8. 手動操作力試験は、JIS A 1551 の「7.4.1 引き戸の手動操作力試験」による。 9. 反転停止距離試験は、JIS A 1551 の「7.5.1 引き戸の反転停止距離試験」による。 10. 絶縁抵抗試験は、JIS A 1551 の「7.9 絶縁抵抗試験」による。 11. 試験体の戸寸法は、幅 900mm × 高さ 2100mm 程度とする。 	